

自動車学校横須賀ドライビングスクール「感謝祭」にて広報を実施 衛星通信装置タスコム搭載の高機動車を展示



高機動車前で「はまにゃん」ステッカーを高付けポーズをとる生徒たち



自衛隊ブースを訪れた生徒ら

神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長 東3海佐）は、10月9日（月）、横須賀ドライビングスクール（横須賀市船倉）にて実施された「感謝祭」において、陸自久里浜駐屯地に所在する通信学校広報班の支援を受け自衛隊をPRした。

当日は晴天に恵まれ、会場には警察、消防、自動車メーカーや飲食店のブースが並び、ステージでは横須賀や横浜の高校のダンス部によるダンスが披露され、多くの若者たちで賑わった。

自衛官募集ブースでは、パンフレットを求める高校生やその保護者が訪れ、広報官は仕事内容や採用試験について丁寧に説明していた。

また、衛星通信装置タスコムを搭載した高機動車は、若者たちの注目を集め、興味を持った生徒は、スマートフォンで写真撮影する他「何に使うんですか？災害派遣にも行くんですか」などと次々と質問し、興味津々の様子だった。ダンスグループは「乗り心地はどうですか」「オートマなんですね」などと話し、神奈川地本マスコット「はまにゃん」のステッカーを揃って胸に付け、敬礼ポーズで車両と共にカメラに収まっていた。

横須賀地域事務所は「今後も積極的に自衛隊をPRし、自衛隊への関心の喚起と理解の促進に努めていきたい」としている。

神奈川県立相模三川公園「災害時の公園活用体験」において自衛隊をPR



炊き立てごはんを受け取る児童

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 岡山1海尉）は、10月14日（土）、15日（日）の両日、神奈川県立相模三川公園（海老名市上郷）が主催する「災害時の公園活用体験」において、小学生とその家族ら約500名に対し、自衛隊の活動をPRした。

1日目は、同公園パークセンターにて「東日本大震災」での災害派遣活動について、所長が映像を交えながら講話を実施し、入浴支援の様子を見た児童は「お風呂のお湯は、どうやって持ってくるの」「大きいから、みんなで入れるね」などと話し、次々と映し出される装備品に興味津々の様子だった。

2日目は、久里浜駐屯地に駐在する中央野外通信群の支援を受け、野外炊具による豚汁と米飯の炊き出しを行い、参加者は食事を体験した。調理の様子を見学しに集まった参加者は「一度に何人分作れるんですか」「煮るのも、炊くのもできるんですね。揚げものもできますか」などと質問し、調理を担当する四元 愛子3曹は、笑顔で質問に答えていた。

厚木募集案内所は「今後も部隊と綿密に連携し、地域に根付くような広報活動に励み、防衛基盤の拡充に努めていきたい」としている。



配食する中野通群四元3曹と公園スタッフ



食事を体験する親子



炊き出しの準備をする中野通群の隊員